



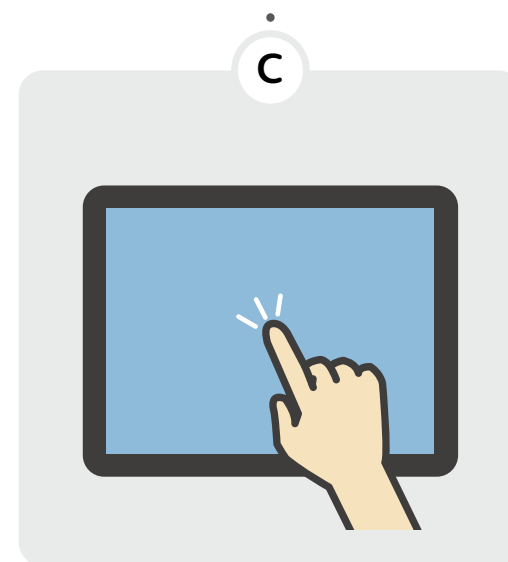
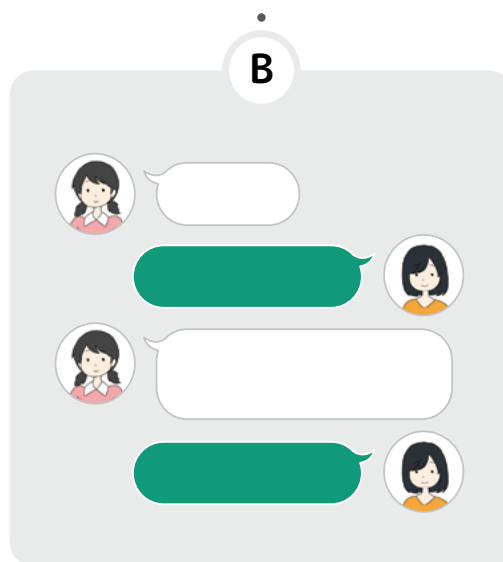
ここから、たんまつを使った学習がはじまります。

ここでは、たんまつを使う前に知っておくべきことや気をつけておくべきことについて学びます。

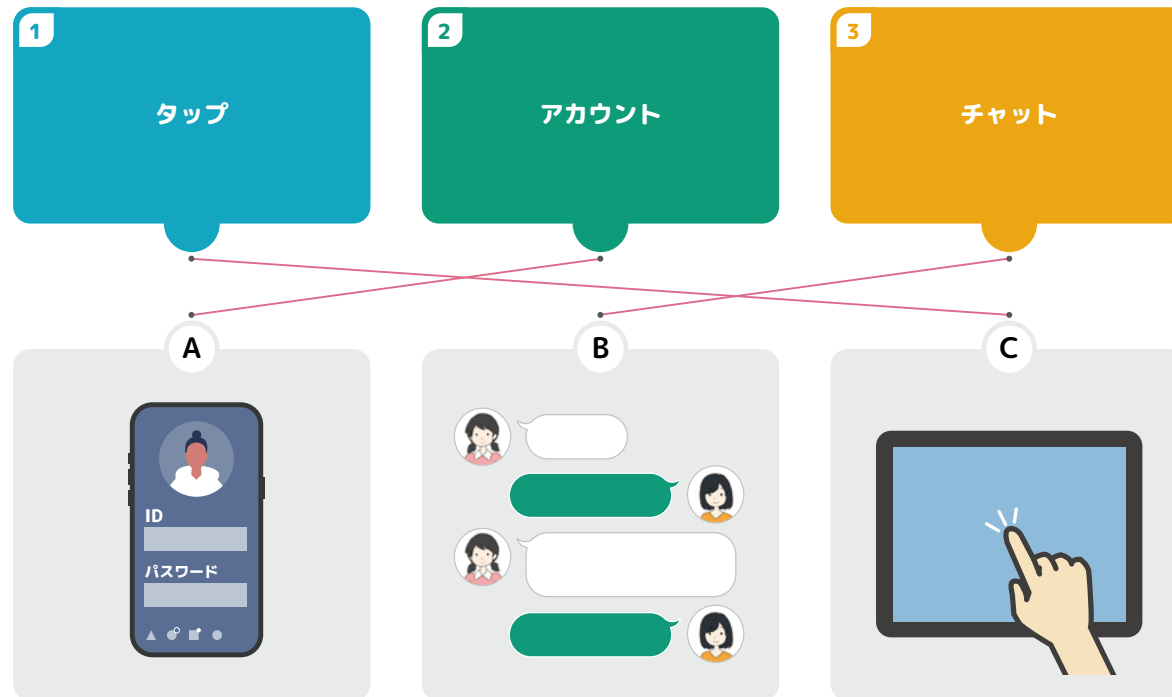
### さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、たんまつを使うときの言葉を知っていると思う
- わたしは、自分にあつた方ほうで文字を入力することができると思う
- わたしは、たんまつを大切に使用していると思う
- わたしは、よりよいパスワードの作り方や使用方を知っていると思う

これから、たんまつを使った学習がはじまります。  
 上の1～3の言葉のせつ明として正しいものを、下の①②③の絵からえらび、線でつなげましょう。



せい  
正かい



☆ スキルのポイント

「タップ」とは、指<sup>ゆび</sup>で軽く<sup>かる</sup>さわることです。

「アカウント」とは、その人のこと<sup>ひと</sup>をはんだんするもので、家<sup>いえ</sup>にたとえば住所<sup>じゅうしょ</sup>のようなもの、「パスワード」とは家<sup>いえ</sup>のカギのようなものです。パスワードはとても大切<sup>たいせつ</sup>なものなので、人<sup>ひと</sup>に教え<sup>おし</sup>ないようにしましょう。

「チャット」とは、ネット<sup>うえ</sup>上での文字<sup>もじ</sup>だけのコミュニケーションのことです。

タブレットでは、いろいろなほうで文字を入力することができます。  
つぎ ことば じぶん ほう にゅうりよく  
次の3つの言葉を、自分にあつたほうでそれぞれ入力してみましょう。

1

おいしい

2

ごはん

3

がっこう

キーボードで



てが  
手書きで



おんせい  
音声で



とも  
友だちとくらべてみよう

キーボードで



てが  
手書きで



おんせい  
音声で



## ★ スキルのポイント

もじ にゅうりょく  
文字の入力は、これからひつようなスキルになります。

じぶん にゅうりょく  
自分にあつた方ほうで入力できるようにするとともに、ぜひキーボード入力に  
もチャレンジしてみましよう。

れんしゅう じゅう  
くりかえし練習することが重ようです。





# たいせつ つか 「大切に使う」とは

つぎ 次の3つのことを実践<sup>じっ</sup>にやってみて、<sup>とも</sup>友だちとくらべてみましょう。

1

たんまつを  
「しずかに」  
とじる

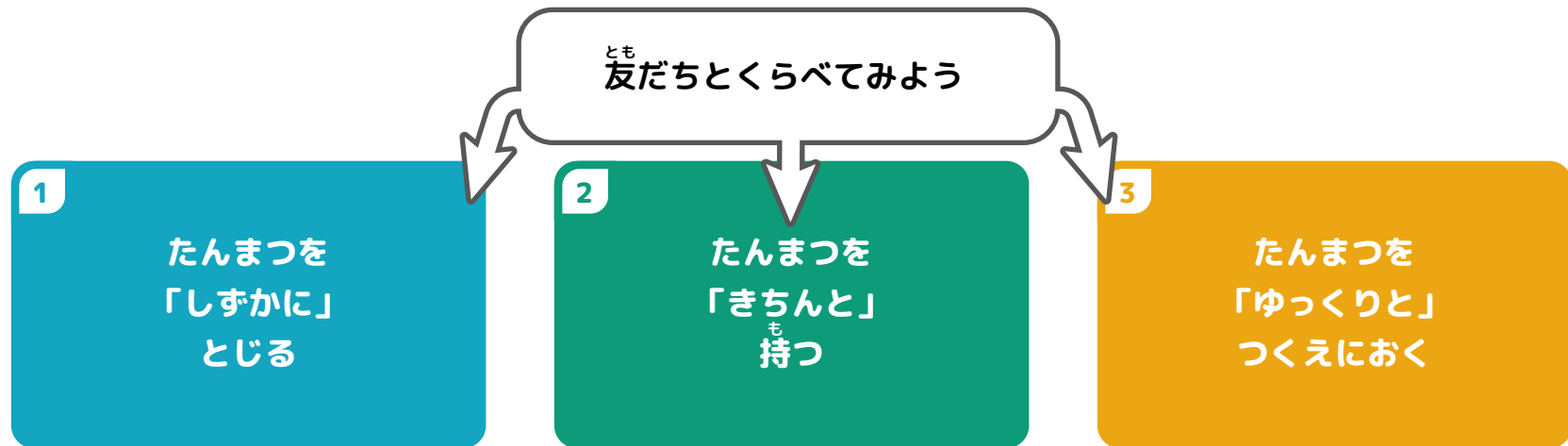
2

たんまつを  
「きちんと」  
も  
持つ

3

たんまつを  
「ゆっくりと」  
つくえにおく





## ★ スキルのポイント

たんまつは、大切にたいせつ使つかわないとこわれてしまうことがあります。  
もし、こわれてしまうと、しゅうりのために時間じかんがかかり、みんなと同じようにたんまつを使つかえなくなることもあります。

たんまつを使つかうときは、できるだけやさしくさわったり、しっかりと両手りょうてで持もったり、ゆっくりとつくえにおいたりすることを心こころがけましょう。





# パスワードの作り方や使い方

パスワードにかんする3つの<sup>こうどう</sup>行動を、「○<sup>もんだい</sup>問題はない」「×<sup>もんだい</sup>問題がある」にわけてみましょう。

1

わすれないように、パスワードを自分のたん生日(1215)にした

2

わすれるかもしれないので、友だちにパスワードを教えた

3

友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにした

○<sup>もんだい</sup>問題はない **A**

**B** ×<sup>もんだい</sup>問題がある



○ 問題はない **A**

3 友だちがパスワードを  
入力しているときは、  
その様子を見ないように  
した

× 問題がある **B**

1 わすれないように、パス  
ワードを自分のたん生日  
(1215) にした

2 わすれるかもしれないの  
で、友だちにパスワード  
を教えた

★ スキルのポイント

パスワードを自分のたん生日にしてしまうと、ほかの人にかんたんに予想されてしまします。

パスワードは、他の人がかんたんに予想できないようにして、だれにも教えず、もし友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにしましょう。





つか まえ  
使う前に

## まとめ

### じょうず つか 上手に使うために

たんまつは、<sup>つか</sup>使おうと思えば、<sup>おも</sup>学習だけでなく<sup>あそ</sup>遊びにも<sup>つか</sup>使えてしまいます。

「なぜ、たんまつが<sup>はい</sup>配<sup>り</sup>ふされているのか」、その<sup>りゆう</sup>理由を<sup>かんが</sup>えながら、たんまつを<sup>ゆう</sup>有<sup>つか</sup>こうに<sup>つか</sup>使っていきましょ  
う。

### チェックしてみよう

- わたしは、たんまつを<sup>つか</sup>使うときの<sup>ことば</sup>言葉を<sup>めい</sup>せつ明<sup>めい</sup>することができる
- わたしは、<sup>じぶん</sup>自分にあつた<sup>もじ</sup>方<sup>にゆうりよく</sup>ほうで<sup>もじ</sup>文字<sup>にゆうりよく</sup>を入力<sup>にゆうりよく</sup>することができる
- わたしは、たんまつを<sup>たいせつ</sup>大切に<sup>つか</sup>使うことができる
- わたしは、よりよいパスワードの<sup>つく</sup>作り<sup>かた</sup>方や<sup>つか</sup>使い<sup>かた</sup>方を<sup>めい</sup>せつ明<sup>めい</sup>することができる